

# 豊臣政権の東国政策と 徳川氏

片山正彦 著

佛教大学研究叢書 29

▼A5判・二二五二頁／定価：本体六、〇〇〇円（税別）  
ISBN978-4-7842-1875-2

【二〇一七年二月刊行】

近年発見された「九月十七日付家康書状」。そこから新たに見えてきた豊臣と徳川の関係とは…。

本書は、新出史料の分析を中心に、豊臣・徳川の政治的関係を見直しつつ、豊臣政権の東国政策の一端を明らかにしようとするものである。

第五回「徳川奨励賞」を授与された研究をもとに、これまで「惣無事」論や「取次」論を語る際に前提とされてきた通説をくつがえすことを試みた意欲作。

○ 内容目次

研究史の整理と問題点

第一章 天正年間ににおける豊臣政権の在京賄料

豊臣政権による家康への近江在京賄料宛行の意義

第二章 豊臣政権の対北条政策と家康

豊臣・徳川間における「長丸」上洛問題／小田原の役と「長丸」の上洛

豊臣政権の小田原出兵計画と「長丸」の不上洛

補論一 書評 福田千鶴著『淀殿——われ太閤の妻となりて』

第三章 天正後期豊臣政権の「取次」と家康

関東方面の「取次」と秀吉・家康の政治的関係／

第四章 豊臣政権の統一過程における家康の位置付け

家康上洛以前の豊臣・徳川の関係／「惣無事」における家康の位置付け

第五章 豊臣政権樹立過程における於次秀勝の位置づけ

同時代史料以外にみえる「秀勝」／丹波在国期における於次秀勝

第六章 「江濃越一和」と関白二条晴良／丹波在国期における於次秀勝

二条家とその周囲／「江濃越一和」における二条晴良の役割／

補論二 「石山合戦」和睦交渉における公家の役割

天正六年の和睦交渉における庭田重保・勧修寺晴豊の役割／

天正八年の和睦交渉における庭田重保・勧修寺晴豊・近衛前久の役割

補論三 原田直政の大和国支配

まとめ

かたやま・まさひこ：一九七三年大阪府生まれ。佛教大学大  
学院文学研究科日本史学専攻博士後期課程修了。第五回「徳  
川奨励賞」受賞（財）徳川記念財団）。現在、市立枚方宿鍵屋  
資料館学芸員、佛教大学非常勤講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)
冊 数	冊	豊臣政権の東国政策と徳川氏	本体6,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1875-2
お名前		tel e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）			

本書HPのQRコード

## 思文閣出版既刊図書案内

※オンデマンド版は受注生産のため、ご注文から2週間ほどお時間いただきます

### 織豊期の茶会と政治 オンデマンド版

竹本千鶴著

織田信長による名物茶器をしつらえた茶会の場を、従来のようにわび茶の史的変遷の一齣として見ていくのではなく、室町殿中の座敷飾りが段階的に発展した「大名茶湯」として捉えて、中世史の中に位置付け、織田・豊臣政権における支配構造の一側面を茶会の場を通して明らかにする。(初版2006年)

►A5判・476頁／本体 9,500円(税別)

ISBN978-4-7842-7007-1

### ※関ヶ原合戦と近世の国制

笠谷和比古著

徳川時代270年のまさに端緒となった関ヶ原合戦が内包していた諸問題の再検証と、合戦後の領地配分(地政学的状況)にみられる支配の実態、將軍制をめぐる思惑と確執、家康と秀頼の関係などを通して豊臣と徳川の「二重公儀体制」の実態を明かし、徳川家康の政権構想と近世天皇制との関係を論じる。

►A5判・280頁／本体 5,800円(税別)

ISBN4-7842-1067-9

### 在京大名細川京兆家の政治的研究

浜口誠至著

戦国期に室町幕府の政策決定に参画した大名を「在京大名」と規定し、その中でも代表的な存在である細川京兆家の政治的位置を明らかにすることで、戦国期幕府政治の構造的特質を解明する。幕府儀礼・奉公人奉書による裁許の補完と幕政代行等を検討し、制度史中心の幕府政治史を相対化する試み。

►A5判・328頁／本体 6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1732-8

### ※戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

戦国大名はどのような伝達ルートを介して家中の内外との意思の疎通を行ったのか?本書は甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中枢を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

►A5判・436頁／本体 8,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1553-9

### ※戦国大名権力構造の研究

村井良介著

戦国大名権力の動向は、近世に向けた一貫した過程と捉えることができるのか?本書は、主に毛利氏を事例に、戦国大名、「戦国領主」の重層的な権力構造の分析から、戦国期の権力諸関係の特質を、理論的かつ実証的に描くことにより解明する。

►A5判・452頁／本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1610-9

### ※戦国期関東公方の研究

阿部能久著

思文閣史学叢書

関東府の長である関東公方権力の戦国期から江戸期初頭にかけての諸問題の解明に取り組む。公方発給文書の様式変化にみる権力構造の実態、鶴岡八幡宮・鎌阿寺や禅宗・一向宗などの寺社勢力との関係、関東公方家の後裔である喜連川家の幕藩体制下の位置、さらに武家故実書『鎌倉年中行事』の成立背景を探る。

►A5判・320頁／本体 5,700円(税別)

ISBN4-7842-1285-X

### 徳川將軍家領知宛行制の研究

藤井讓治著

思文閣史学叢書

近世社会、特に領主社会での徳川將軍家と大名との関係を成立させる領制。本書はその領制を基礎のところで成立させている領知朱印状そのものに注目し、徳川將軍家の領知宛行制の形成過程とその特質を明らかにする。各章末に領知朱印状の一覧を付す。

►A5判・412頁／本体 7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1431-0

### 天下人の神格化と天皇

野村玄著

豊臣秀吉や徳川家康の神格化が、なぜ近世前期の政治過程において要請され、それらはどのように実現したのかを解明し、そこでの天皇・朝廷の行動と意味を再検討するとともに、その後の徳川將軍家が天下人の神格や天皇・朝廷といいかに向き合ったのかを、綱吉期までを視野に入れ叙述する。

►A5判・384頁／本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1781-6

### 織豊期主要人物居所集成 [第2版]

藤井讓治編

政権の中心人物、政権中枢の人物、有力大名、有力武将、僧侶・文化人、公家、政権に関わる女性たち、総勢25名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉の天下統一の道程や戦国武将の動静、同時代人たちの交流を詳細に追える。多くの研究者が複数の人物を取り上げ、居所情報を複眼的に確定した成果。

►B5判・480頁／本体 6,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1833-2

### 室町幕府の東国政策

杉山一弥著

室町幕府の東国政策という視点から室町期東国社会をとらえ直し、その焦点を平時・戦時それぞれの東国の儀礼と秩序、東国における足利氏一族庶子の存在意義、室町幕府・鎌倉府の境界領域ならびに政治・経済的に競合する地域社会における諸階層の動向にあわせて再検討する。

►A5判・388頁／本体 7,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1739-7

### ※東国における武士勢力の成立と展開

山本隆志著 東国武士論の再構築 思文閣史学叢書

武士研究は社会経済的・在地領主制論から国家史的職能論へと変化してきたが、それらをふまえた政治史的論究が求められている。本書では、東国武士を武士勢力としてとらえ、京・鎌倉での活動と連動しながら本領で法会・祭礼を主催するなかで政治的支配力を形成していることを、具体的に論じる。

►A5判・384頁／本体 6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1601-7

### 戦国期権力佐竹氏の研究 オンデマンド版

佐々木倫朗著

室町期から戦国期にかけ、佐竹氏がどのような過程をへて権力形成を行ったのか、一族衆や國衆等の活動、佐竹氏と地域社会との関わりやその地域編成について、佐竹氏が発給した「知行充行状」・秋田藩家蔵文書等の史料を通じて考察することで、從来捨象されたちであった戦国期の権力編成の姿を浮き彫りにする。(初版2011年)

►A5判・306頁／本体 6,100円(税別)

ISBN978-4-7842-7025-5

### 戦国大名佐々木六角氏の基礎研究

村井祐樹著

これまで、戦国期畿内の政局における重要性は広く知られながら実証的な研究が不十分であった戦国大名佐々木六角氏について、可能な限り一次史料を用い、六角氏や家臣の動向、実態など基礎的事実を明らかにする。

►A5判・530頁／本体 11,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1663-5

### 大坂城と城下町

渡辺武館長退職記念論集刊行会編

元大阪城天守閣長渡辺武氏の退職を記念した22名による論文集。豊臣大坂城時代はもちろん、難波宮・大坂(石山)本願寺から現代にいたるまで、多彩な視角から大坂城と都市大阪を考察する。

►A5判・436頁／本体 8,800円(税別)

ISBN4-7842-1062-8

### ※近世史小論集 古文書と共に

藤井讓治著

日本近世政治史研究の泰斗である著者が、研究をはじめたころからごく近年にいたる間に書いた小論のうち、あまり目にとまらないところに収められたもの、入手の困難なものの中でも著者の主要な研究の前提、あるいはその後の展開にかかる論考を集めた。2012年3月の京都大学退職にあたり、約40年におよぶ研究の軌跡を振り返る。

►A5判・490頁／本体 6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1621-5

### 日光東照宮の成立 オンデマンド版

山澤学著

近世日光山「莊嚴」と祭祀・組織

成立過程を、東照宮を支えた將軍ないし天皇を頂点とした力学、神格を再生産すべく構築された祭祀組織と祭礼の特質、権現造建築に示される建築・空間を規定した同時代社会、さらにその裾野に広がる町の形成、これら全体を構造的に把握することにより明らかにする。(初版2009年)

►A5判・420頁／本体 8,500円(税別)

ISBN978-4-7842-7004-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は、外函・カバーに汚れ・傷みがございます。